



〈第9号〉
平成27年1月号

萩市復興だより

～ 元気になあれ ひまわりのように ニコニコと ～

発行・編集
萩市災害復興局
TEL 08387-6-2214

一昨年（平成25年）の豪雨災害から1年5ヶ月が経過しました。山間部では積雪が見られる季節となっています。復旧・復興に向け進む、萩市東部の今を紹介します。

新年を迎えて

～ 一日も早い復旧・復興を市民の皆様とともに ～

輝かしい平成27年の新春を迎えられ、心からお慶び申し上げます。

さて、一昨年7月28日、私たちの経験や想像をはるかに超える甚大な被害をもたらした集中豪雨災害から1年5ヶ月余りが経過しました。萩市では、この災害を合併後の新市最大の試練と位置づけ、昨年を「災害復興元年」として災害復興局をはじめ関係職員と県内各市や姉妹都市鎌倉市からの職員派遣をいただき、一丸となって復旧・復興に取り組んでまいりました。



農地・農業用施設の復旧では、農家負担の軽減を最大限に図りつつ、早期の営農再開が可能となるよう自主的・自力的な復旧を支援するとともに、国の補助災害復旧工事については、道路や河川など公共土木施設も含めて、概ね工事発注を終え、今年3月末には7割程度の工事完成を、そして来年3月末には市の管理する全ての工事完了を目指して努力しているところです。

その中で、復旧・復興のシンボリック事業として取り組んでまいりました小川支所・小川コミュニティセンターの建設については、消防器庫等と併せ防災拠点の機能を備えた複合施設に整備するとともに敷地内に小川郵便局の併設を見据えて、より充実したサービスの提供ができる中核的な施設として今年7月の供用開始を目指し、また、須佐保育園については、安心・安全な保育環境を確保するため、旧奈古高等学校須佐分校グラウンド跡地に新保育園を整備し、本年3月には卒園式の挙行となるよう工事を進めているところです。

さらに、昨年（平成25年）の8月にJR山陰線（須佐駅～奈古駅間）の運行が再開し、11月には国道191号（須佐トンネル付近）が全面復旧するなど、市民生活の基盤となる東西を結ぶ幹線道路や公共交通機関が復旧・再開したことは、復興への道のりを加速させるところであります。

しかしながら、県管理河川である須佐川・田万川の広域河川改修工事がこれから本格的に始まるなど復旧・復興は道半ばであります。今後も防災・減災への取組みとともに萩市東部地域の将来像を見据え、一日も早い復旧・復興を市民の皆様とともに力を合わせ取り組んでまいり所存ですので、格別のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

末尾になりましたが、本年の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

平成27年1月吉日

萩市長 野村興児

「弥富子ども大会」開催

12月21日（日）弥富地区子ども会の主催により弥富交流促進センターで「弥富子ども大会」が開かれました。

老人クラブの皆さん指導で“しめ飾り”の作成や戦国ドッジボール、子どもたちのアイデア満載となったケーキ作りがありました。

年の瀬を迎え、高齢者とのふれあいや友達との調理など楽しいひと時となりました。



みんなで教わる「しめ縄づくり」

「ちゃんちゃんこ」の贈り物

“豪雨被災者の皆様へ”と岩国市麻里布地区民生委員・女性ボランティアの皆様から手作り「ちゃんちゃんこ」の寄贈がありました。

萩市社会福祉協議会・生活支援相談員の皆さんにより、仮設住宅にお住まいの方や被災された一人暮らしの高齢者宅へ12月中旬に訪問しお届けしました。寒さが一段と増すなか、こころ暖まる贈り物をいただき、ありがとうございました。



「ちゃんちゃんこ」のお届け

高齢者宅「年末訪問」

12月25日（木）田万川ふるさとづくり協議会の主催により田万川地域で75歳以上のひとり暮らしの高齢者、約180名の方へ年末の「声かけ訪問」が行われました。

訪問時には、心ばかりのお届けものと児童生徒からのメッセージが添えられ、地区福祉員の方や地域の子もたち、児童・民生委員の方など総勢111名の参加となり交流の輪が広がりました。



「声かけ訪問」の様子

世代間交流「もちつき大会」

12月25日（木）むつみ元気支援隊の主催により、むつみコミュニティセンターで「もちつき大会」が開催されました。

子どもから高齢者まで、地域の約100名の方が集い、もちつきやビンゴゲームなどが行われました。会場では、杵つきのコツやビンゴの仕方など、協力と助け合いのなかで世代を超えた、地域元気の交流の場となりました。



教わり、協力合って「もちつき」

サンタがやってきた！

～ 田万川保育園小川分園 ・ 須佐保育園 ～



“サンタさん”からの贈り物（田万川保育園小川分園）

12月19日（金）須佐保育園クリスマス会が須佐公民館で行われました。クリスマスの歌や踊りで遊んでいるなか、突然のサンタさん登場に園児の目も輝き「どこからきたの」「夏は何しているの」など無邪気な質問にサンタさんも困っていました。

12月25日（木）には田万川保育園小川分園にサンタが訪れ、プレゼントを受け取る園児たちの笑顔でいっぱいとなりました。両園ともサンタさんと一緒にクリスマスのダンスや歌で楽しみ、沢山のプレゼントを抱えながら互いのプレゼントを見せ合い大はしゃぎとなっていました。

田万川保育園小川分園は、一昨年の集中豪雨で施設が被災し田万川保育園への送迎バスで保育が行われるなか、施設の復旧工事などが行われ、昨年1月からの再開となりました。

須佐保育園では、施設の被災後から田万川保育園での送迎バスによる保育となり、園児には急激な環境の変化となりましたが、本年3月には、旧奈古高等学校須佐分校グラウンド跡地に建設中の新園舎での卒園式が挙行され、須佐保育園の新たなスタートを迎えます。



サンタさんと“はいチーズ”（須佐保育園）

◀ 建設中の新須佐保育園舎



須佐特産「暮の市」

12月28日（日）毎年恒例となった須佐特産「暮の市」が須佐駅前広場で開催されました。

会場の須佐駅前には、開始前から多くの人々が集まって、午前9時の販売開始の合図とともに、目当てのしめ飾りやおもち、野菜や花などを購入しようと商品に向かって走って行く姿も見られました。ほとんどの商品は間もなく完売となり大盛況に終わりました。



販売開始の様子

災害復旧工事の着手状況等について

市の管理する河川や道路及び農地・農業用施設など国・県の補助事業となる災害復旧工事については、概ね発注を終え、工事の完成に向け事業を進めているところです。着手状況などは下記のとおりです。

■土木・農地等災害復旧工事（補助事業）

区 分	全体件数 A	発注件数		着手件数(完了含む)	
		B	B/A	C	C/A
公共土木施設災害復旧	270件	268件	99.3%	190件	70.4%
農地・農業用施設災害復旧	474件	471件	99.4%	232件	48.9%
林業施設災害復旧	18件	18件	100.0%	18件	100.0%

※件数は災害査定の箇所数

(H26.12月末現在)



田万川地域（恵知ヶ迫川）



須佐地域（高山：農業用施設）

災害義援金の最終配分(第4次)について

第4次となる義援金の配分を昨年12月中旬から開始し対象の方へお届けしています。また、残額は萩市生活応援センター（萩市災害ボランティアセンター）への支援金として配分します。今回の配分で義援金全額の配分が完了します。多くの皆さまから温かいご支援をいただき心から感謝申し上げます。

■義援金の配分状況

配分時期等	配分金額
第1次(H25.9月)	43,210,000円
第2次(H25.12月)	94,990,000円
第3次(H26.5月)	23,250,000円
第4次(H26.12月)	4,596,781円
合計	166,046,781円

※配分金額（第4次）は、予定額となります。



副市長訪問（小川地区：12月16日）

発行：萩市災害復興局
TEL 08387-6-2214 FAX 08387-6-2218

生活再建支援事業部 TEL 08387-6-2213
都市基盤復興事業部 TEL 08387-6-2215
産業再生事業部 TEL 08387-6-2217

